

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会  
令和7年度 第2回理事会 議事録

- 1.開催日時 令和7年7月11日 午後7:00～午後8:00  
2.開催場所 ZOOM会議  
3.理事総数 11名  
4.出席者数 4名（書面表決書2名）  
出席者（前河洋一、小林均、保原幸夫、清水泰生 敬称略）  
書面表決書（鈴木良雄、山本正彦 敬称略）  
5.議長選任 議長として前河洋一氏が選出された。

6.議事の経過の概要および議決の結果

- 第1号議案 前回理事会および令和7年度年次総会（6月6日開催分）議事録に関する件  
保原氏から各理事および会員に対し過日メールにて送信し、内容を確認していただいたが、特に疑義等がなかったので承認されたものとする旨報告があった。
- 第2号議案 議事録署名人の指名について  
議事録署名人として小林均氏と保原幸夫氏が選出された。
- 第3号議案 創立20周年記念事業について  
実施要項を策定する上で必要な日程、場所、内容、予算等について、前回理事会で説明があった保原案に基づいて意見交換を行った。  
【保原案の概要は下記の通り】  
10月～3月の間に、まずは世界陸上の結果を踏まえて東京で、次いで北海道マラソン教室でお世話になった札幌で、そしてランニング学会大会に合わせて大阪で開催。  
参加費2千円を徴集すれば、各回100人の集客ができれば事業収益が見込める。  
山西、宇佐美、沢木の先生方は、それぞれ、トップアスリートを目指してトレーニング方法を工夫して独自のトレーニング方法確立し、その経験を基に大学生を中心としてアスリートの指導に携わられました。そして、山西、宇佐美の両先生はその後、指導の対象を市民ランナーへと広げられました。山西先生にはランニングの多様性について、宇佐美先生にはランニング技術についてお話し頂ければと思います。  
世界のトップを目指すアスリート、人生を充実させるために走っている市民ランナー、障害に負けずに頑張っている障害者ランナー等に向けて何らかのアドバイスを頂ける機会になればと思います。できれば、当協会の目的であるスポーツによる国際交流のあり方について触れて頂ければと思います。  
そんな想いを込めてタイトルは「ランニング人生を振り返って、ランナーの皆さんに伝えたいこと」としてみました。  
【意見交換の概要は下記の通り】  
日程、場所、内容などを決めていかなければいけないが、会場手配、予算編成の関係があるので事業収益確保上の集客目標100人が妥当な数字であるかどうかについて意見交換を行

った。

事業収支の観点からは集客 100 人が必要なことは理解できるが、確実に確保できる人数を予測してみる必要がある。内容次第ではスポンサー募集も考えられるかも知れないが、それはあてにしないで自力でやることを考えたい。その場合、ランニング学会のように会員の参加が見込める団体ではないので、皆さんに興味を持って貰える内容を策定できると効果的な PR が決め手になると考える。どうやったら集客できるかという戦略を練らないといけない。

過去の実績としては、日大開催したセミナーは 200 人収容の会場で 100 人ぐらいの参加者を集められたが、立正大で開催した国際交流シンポジウムは 40 人程度の参加者だった。この差を分析してみることも有効であると考え。

内容、PR方法を考える上で、参加者のターゲットを絞ることも有効だとの意見も出たが、各先生にどのターゲットに何を伝えたいかを考えた内容にして頂けば良いのではないかなという意見も出た。各先生はいわゆるレジェンドであり全国的にファンも多いと思うので、そういう人達が聞きに行ってみたいと思える内容になっていけば良いと考える。しいて言えば、オールドファンに向けた内容では進展がないので、ターゲットに若い人達や走り始めた人達など、これからの人達へのメッセージも入れてもらいたい。それぞれの想いで、ターゲット層を決めて語りかける内容にすれば、集客 100 人は可能になるのではないだろうか。

20 周年記念事業なので、大テーマを掲げる必要があるのではないかなとの意見があり、当協会の趣旨である“スポーツを通じての国際交流”が提案された。ちなみに、今年のランニング学会大会では“過去から未来へ”というテーマを掲げ、歴代会長に研究者、学連、市民ランナーなどターゲットを絞ったテーマについて想いを伝えてもらったとのことなので、この手法が今回も使えるのではないかなということになった。

“スポーツを通じての国際交流”という観点から、トップアスリートから市民ランナーまで、若い人から高齢者まで、トラック競技からトレイルランまで、ターゲットを絞ったストーリーづくりをして各先生にお話いただくのが良いのではないだろうか。

特に、山西先生には当協会を設立するに至った経緯、趣旨とともに、目標に対する達成度合を評価していただき、今後、どのようにしたいと考えているのかを我々に伝えて欲しい。

その中で、アラフラゲームズ参加のきっかけとなったクリケットが 2028 年ロサンゼルスオリンピックの正式種目になったことで盛り上がっている栃木県佐野市の話題に触れてもらうのも面白いかも知れない。

今日の話し合いを元に内容・戦略を早急に構築する必要があるので、集中して理事会を開催して行くことになった。

いずれにしても、当協会の認知度アップの機会にしたいと思う。

#### 第 4 号議案

その他

##### ■定款変更認証申請について

定款変更認証申請書を 7 月 7 日(月)に東京都庁宛に提出した。認証まで 2 ヶ月半ほどかかるとのこと。

##### ■三菱UFJ 銀行口座変更手続きについて

理事長変更に伴う口座変更手続きの必要があるため、7 月 14 日(月)に千葉支店で手続き予

定。

■ランニング学会プロジェクト研究について

7月下旬よりZOOM会議を開始する旨、山内理事長より連絡があった。

研究テーマは「高齢期（シニア期）におけるランニングと健康」で、プロジェクトメンバーは山内理事長、藤牧副理事長、河合副会長、徳居理事、宇佐美先生、保原の6名。

■次回理事会について

7月31日(木)19時～20時にZOOM会議を開催する事になった。

本日の議論に基づいて、内容の確定に向けての話し合いを行うので、できるだけ多くの理事の参加をお願いしたい。

以上をもって議案全部の審議を終了したので、午後8時に議長は閉会を宣言し散会した。

上記の議決を明確にするため、議長及び議事録署名人において下記に署名・押印する。

令和7年7月11日

特定非営利活動法人 日本市民スポーツ海外交流協会

議長

前河洋



議事録署名人

小林均



議事録署名人

保原幸夫

